(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年4月4日(04.04.2024)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2024/069955 A1

(51) 国際特許分類:
G16H 80/00 (2018.01)

(21) 国際出願番号： PCT/JP2022/036756

(22) 国際出願日： 2022年9月30日(30.09.2022)

(25) 国際出願の言語： 日本語

(26) 国際公開の言語： 日本語

(71) 出願人: 株式会社ＰＥＣＯ(**PECO INC.**) [JP/JP]; 〒1510051 東京都渋谷区千駄ヶ谷３－６０－７ Tokyo (JP).

(72) 発明者: 岡崎 純(**OKAZAKI Jun**); 〒1510051 東京都渋谷区千駄ヶ谷３－６０－７ 株式会社ＰＥＣＯ内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: Ｏｎｅ ｉｐ弁理士法人(**ONE IP PATENT FIRM**); 〒1040031 東京都中央区京橋二丁目７番１４号 ビュレックス京橋２０８ Tokyo (JP).

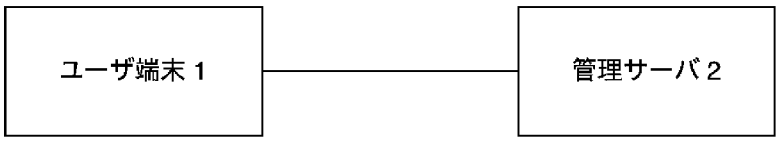
(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU,

(54) **Title:** VETERINARY TREATMENT ASSISTANCE SYSTEM, VETERINARY TREATMENT ASSISTANCE METHOD, AND PROGRAM

(54) 発明の名称： 獣医療支援システム、獣医療支援方法及びプログラム

[図1]



1 User terminal
2 Management server

(57) **Abstract:** [Problem] To reduce length of stay of an animal in a veterinary treatment institution. [Solution] A veterinary treatment assistance system is characterized by comprising: an examination message transmission unit that outputs a message for instructing an owner who has visited a veterinary treatment institution to have the owner's animal undergo an examination; a going-home message transmission unit that outputs, in response to completion of the examination, a message for instructing the owner to go home; an examination result input unit that receives an input of an examination result; and an examination result transmission unit that transmits the examination result to a user terminal of the owner.

(57) 要約：【課題】獣医療機関における動物の滞在時間を減らすことができるようにする。【解決手段】獣医療支援システムであって、獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力する検査メッセージ送信部と、検査が終了したことに応じて、飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力する帰宅メッセージ送信部と、検査の結果の入力を受け付ける検査結果入力部と、飼主のユーザ端末に検査の結果を送信する検査結果送信部と、を備えることを特徴とする。

WO 2024/069955 A1

［続葉有］

TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

— 国際調査報告（条約第21条(3)）

明　細　書

発明の名称 ：

獣医療支援システム、獣医療支援方法及びプログラム

技術分野

[0001]　本発明は、獣医療支援システム、獣医療支援方法及びプログラムに関する。

背景技術

[0002]　特許文献１には、医療機関でキャッシュレス支払を行うことが記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開２０２２－６５４３２号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004]　獣医療では、飼主は動物に検査を受けさせた後に、検査結果を聞き、さらに会計をしてから帰宅しているところ、滞在時間を短くしたいというニーズがある。

[0005]　本発明はこのような背景を鑑みてなされたものであり、獣医療機関における動物の滞在時間を減らすことを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006]　上記課題を解決するための本発明の主たる発明は、獣医療支援システムであって、獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力する検査メッセージ送信部と、前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力する帰宅メッセージ送信部と、前記検査の結果の入力を受け付ける検査結果入力部と、前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信する検査結果送

信部と、を備えることを特徴とする。

[0007] その他本願が開示する課題やその解決方法については、発明の実施形態の欄及び図面により明らかにされる。

発明の効果

[0008] 本発明によれば、獣医療機関における動物の滞在時間を減らすことができる。

図面の簡単な説明

[0009] [図1]獣医療支援システムの全体構成例を示す図である。

[図2]管理サーバ２のハードウェア構成例を示す図である。

[図3]管理サーバ２のソフトウェア構成例を示す図である。

[図4]管理サーバ２の動作を説明する図である。

発明を実施するための形態

[0010] ＜発明の概要＞

本発明の実施形態の内容を列記して説明する。本発明は、たとえば、以下のような構成を備える。

［項目１］

獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力する検査メッセージ送信部と、

前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力する帰宅メッセージ送信部と、

前記検査の結果の入力を受け付ける検査結果入力部と、

前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信する検査結果送信部と、

を備えることを特徴とする獣医療支援システム。

［項目２］

項目１に記載の獣医療支援システムであって、

獣医師から前記検査の結果に応じた診断を受け付ける診断入力部と、

前記診断を前記ユーザ端末に送信する診断送信部と、

を備えることを特徴とする獣医療支援システム。

［項目３］

項目２に記載の獣医療支援システムであって、

前記獣医師から前記動物についての治療計画の入力を受け付ける治療計画入力部と、

前記治療計画を前記ユーザ端末に送信する治療計画送信部と、

を備えることを特徴とする獣医療支援システム。

［項目４］

項目１に記載の獣医療支援システムであって、

前記検査に係る費用を前記ユーザ端末に送信し、前記費用の決済処理を行う決済処理部を備えること、

を特徴とする獣医療支援システム。

［項目５］

獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査の結果の入力を受け付けるステップと、

前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信するステップと、

をコンピュータが実行することを特徴とする獣医療支援方法。

［項目６］

獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査の結果の入力を受け付けるステップと、

前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信するステップと、

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

[0011] ＜システム概要＞

以下、本発明の一実施形態に係る獣医療支援システムについて説明する。本実施形態の獣医療支援システムは、動物患者及び飼主の獣医療機関における受診体験の向上を支援する。

[0012] 従来、飼主は動物患者を連れて獣医療機関に来院したとき、診察を受け、検査を受けた後、検査結果を獣医師から説明を受けるべく再度の診察を受けているところ、本実施形態においては、検査を受けた後、飼主は動物患者を連れて帰宅し、検査結果の説明は、スマートフォンなどのユーザ端末で確認することができるようにしている。本実施形態では、診察後、検査を受ける段階から帰宅後までについて説明する。

[0013] 図１は、獣医療支援システムの全体構成例を示す図である。本実施形態の獣医療支援システムは、管理サーバ２を含んで構成される。管理サーバ２は、ユーザ端末１と通信ネットワークを介して通信可能に接続される。通信ネットワークは、たとえばインターネットであり、公衆電話回線網や携帯電話回線網、無線通信路、イーサネット（登録商標）などにより構築される。

[0014] ユーザ端末１は、獣医師などの獣医療従事者が操作するコンピュータである。ユーザ端末１は、例えば、スマートフォンやタブレットコンピュータ、ノートブック型コンピュータ、デスクトップ型コンピュータなどである。

[0015] ＜管理サーバ＞

管理サーバ２は、例えばワークステーションやパーソナルコンピュータのような汎用コンピュータとしてもよいし、あるいはクラウド・コンピューティングによって論理的に実現されてもよい。

[0016] 図２は、管理サーバ２のハードウェア構成例を示す図である。なお、図示された構成は一例であり、これ以外の構成を有していてもよい。管理サーバ２は、ＣＰＵ２０１、メモリ２０２、記憶装置２０３、通信インタフェース２０４、入力装置２０５、出力装置２０６を備える。記憶装置２０３は、各種のデータやプログラムを記憶する、例えばハードディスクドライブやソリッドステートドライブ、フラッシュメモリなどである。通信インタフェース２０４は、通信ネットワークに接続するためのインタフェースであり、例え

ばイーサネット（登録商標）に接続するためのアダプタ、公衆電話回線網に接続するためのモデム、無線通信を行うための無線通信機、シリアル通信のためのＵＳＢ（Universal Serial Bus）コネクタやＲＳ２３２Ｃコネクタなどである。入力装置２０５は、データを入力する、例えばキーボードやマウス、タッチパネル、ボタン、マイクロフォンなどである。出力装置２０６は、データを出力する、例えばディスプレイやプリンタ、スピーカなどである。なお、後述する管理サーバ装置２の各機能部はＣＰＵ２０１が記憶装置２０３に記憶されているプログラムをメモリ２０２に読み出して実行することにより実現され、管理サーバ２の各記憶部はメモリ２０２及び記憶装置２０３が提供する記憶領域の一部として実現される。

[0017] ＜ソフトウェア構成＞

図３は、管理サーバ２のソフトウェア構成例を示す図である。管理サーバ２は、カルテ情報記憶部２３１と、治療計画記憶部２３２と、検査メッセージ送信部２１１と、帰宅メッセージ送信部２１２と、検査結果入力部２１３と、検査結果送信部２１４と、診断入力部２１５と、診断送信部２１６と、治療計画入力部２１７と、治療計画送信部２１８と、決済処理部２１９と、を備えることができる。

[0018] ＜カルテ情報記憶部２３１＞

カルテ情報記憶部２３１は、獣医療機関に通院する動物のカルテ情報を管理する。なお、獣医療機関に一度でも通院した動物についてはカルテ情報が作成される。カルテ情報に含まれる項目には、例えば、動物患者を特定する動物ＩＤと、受診日（日付）とに対応付けて、飼主基本情報（氏名、住所、Ｅメール等）、動物情報（名前、性別、動物種、品種、体重等）、問診情報、身体所見、病歴、検査情報、診断情報、処置情報、処方情報、メモ、画像情報などが含まれ得る。カルテ情報記憶部２３１は、管理サーバ２とは別のカルテ情報管理システムに管理するようにして、当該カルテ情報管理システムにアクセスするようにすることもできる。

[0019] 身体所見とは、動物病院等において獣医師等が調べることができ、客観的

な数値で表せる身体情報である。例えば「体重」「体温」「心拍」「呼吸数」等である。

[0020] 病歴とは、獣医師等が聴取した主観的な情報である。病歴は、例えば「喉が赤い」というように飼い主だけでは実際に確認するのが困難な項目も含まれている。

[0021] 問診情報は、飼い主から取得する主観的な情報（主訴）であり、例えば、「ご飯をあまり食べていない」「足に擦り傷ができている」「太ってきた」「元気がない」「鼻水が出ている」等であり、飼い主が所有する動物を見たときに観察される症状である。問診情報では「血尿が出ている」という情報が取得されたとしても、獣医師等によって診察したところ「肛門から出血している」という現病歴が聴取されることもある。問診情報は、動物病院に来院した際に問診表や問診用端末等を利用して飼い主から取得してもよいし、飼い主が所有する携帯端末等で事前に入力してもらい取得してもよい。

[0022] 検査情報には、少なくとも当該動物患者が過去に受けた検査の内容（結果）を含んでいる。検査情報には、過去の通院、入院又は手術において受けたことのある検査や、検診において受けたことのある検査などを含めることができる。その際に、検査に対する反応（嫌がったかどうか等、検査自体の受容性・許容性に関する情報）を関連付けて記憶することとしてもよい。

[0023] 診断情報には、少なくとも当該動物患者について過去に獣医師４により判断された内容（診断）の履歴が含まれうる。診断情報には、過去に罹患した具体的な疾患名や怪我等の情報を含めることができる。診断情報には、過去の通院、入院又は手術において疑われた診断に関する情報を含めてもよい。

[0024] 処置情報には、当該動物患者が過去に受けた処置（投薬を含む。）に関する情報を含んでいる。処置情報には、処置または投薬に対する反応（嫌がったかどうか、体調に影響を来たしたか等、処置又は投薬自体の受容性・許容性に関する情報）を関連付けて記憶することとしてもよい。処置の内容としては、例えば、肛門腺処置、爪切処置、足裏処置、耳処置、毛抜き、眼科処置、歯科処置、エリザベスカラー・腹帯など、鍼灸処置、留置、便出し、抜

糸、消毒、酸素処置、催吐処置、緊急蘇生処置、水抜き、強制給餌、洗浄、圧排、マッサージ、マイクロチップ、トリミング、カテーテル、リハビリ、手術、麻酔、入院、注射、輸血、点滴、検査、放射線治療、各種ドック、介護、衛生処置、シャンプー、しつけ、サプリメント、おやつ、避妊、去勢、ノミダニ駆除、狂犬病薬、ワクチン、フード、内用薬、点耳薬、点鼻薬、点眼薬、外用薬（軟膏・クリーム）、外用薬（消毒薬・スプレー）、外用薬、フィラリア予防などが例示できるがこの限りではない。

[0025] 処方情報は、当該動物患者に処方された処方薬及び処方期間が含まれる。処方情報は、当該動物患者が過去に処方された薬剤等を含めることもできる。処方情報には、自宅にて処方された薬剤を服用できたか否か、嫌がったかどうか、体調に影響を来たしたか等、処置又は投薬自体の受容性・許容性に関する情報をユーザ端末１０を介して取得して追加するようにしてもよい。

[0026] メモは、診察、入院又は手術の担当医、担当看護師、担当事務などにより入力されたテキストデータである。

[0027] 画像情報は、動物患者の様子を撮影した画像である。画像情報は、静止画像であっても動画像であってもよい。

[0028] ＜治療計画記憶部２３２＞

治療計画記憶部２３２は、動物患者の治療計画を記憶する。図３に示すように、治療計画記憶部２３２は、動物患者を示す動物患者ＩＤに対応付けて治療計画を記憶することができる。治療計画は、例えば、動物患者に対して行う審査、診察、検査、処置、手術、投薬などの予定を記載したテキストデータや画像データとすることができる。治療計画は、獣医師が作成することができる。

[0029] 検査メッセージ送信部２１１は、獣医療機関に来院した飼主に対して動物患者の検査を受けさせるように指示するメッセージ（検査メッセージ）を出力する。検査メッセージ送信部２１１は、例えば、獣医療機関内に設置されているディスプレイに検査メッセージを出力するようにしてもよいし、獣医療機関内に設置されているスピーカーから音声による検査メッセージを出力

するようにしてもよいし、飼主のユーザ端末１に対して検査メッセージを送信するようにしてもよい。検査メッセージ送信部２１１は、例えば、獣医師や検査技師、看護師などの医療従事者から、次に検査を受けるべき動物患者の指定を受け付け、受け付けた動物患者の飼主に対して検査メッセージを出力することができる。

[0030] 帰宅メッセージ送信部２１２は、飼主に対して帰宅するように指示するメッセージ（帰宅メッセージ）を出力する。帰宅メッセージ送信部２１２は、検査が終了したことに応じて、帰宅メッセージを出力することができる。帰宅メッセージについても、帰宅メッセージ送信部２１２は、例えば、獣医療機関内に設置されているディスプレイに帰宅メッセージを出力するようにしてもよいし、獣医療機関内に設置されているスピーカーから音声による帰宅メッセージを出力するようにしてもよいし、飼主のユーザ端末１に対して帰宅メッセージを送信するようにしてもよい。帰宅メッセージ送信部２１２は、検査が終了した旨と、検査を受けた動物患者を示す動物患者ＩＤとの入力を受け付けるようにし、これらの入力に応じて、検査を終了した動物患者の飼主に対して帰宅メッセージを出力することができる。

[0031] 検査結果入力部２１３は、検査の結果の入力を受け付ける。検査結果入力部２１３は、獣医師や検査技師、看護師などの医療従事者から検査結果の入力を付けるようにしてもよいし、カルテ情報に含まれる当日の検査結果をカルテ情報記憶部２３１から読み出すようにしてもよい。

[0032] 検査結果送信部２１４は、飼主のユーザ端末１に検査結果を送信する。検査結果送信部２１４は、電子メールやチャットにより検査結果を含むメッセージを飼主のユーザ端末１に送信することができる。また、検査結果送信部２１４は、いわゆるＷｅｂアプリケーションとして、管理サーバ２にアクセスしてきた飼主のユーザ端末１に対して、検査結果を閲覧可能に提供するようにしてもよい。

[0033] 診断入力部２１５は、獣医師から検査の結果に応じた診断の内容を受け付ける。診断入力部２１５は、獣医師から直接診断の内容をテキストデータや

数値データなどの形式で受け付けるようにしてもよいし、カルテ情報記憶部２３１から当日のカルテ情報を特定し、特定したカルテ情報に含まれる診断内容（診察内容、身体所見、診断、処方等）を読み出すようにしてもよい。

[0034] 診断送信部２１６は、診断内容をユーザ端末１に送信する。診断送信部２１６は、電子メールやチャットにより診断内容を含むメッセージを飼主のユーザ端末１に送信することができる。また、診断送信部２１６は、いわゆるＷｅｂアプリケーションとして、管理サーバ２にアクセスしてきた飼主のユーザ端末１に対して、診断内容を閲覧可能に提供するようにしてもよい。

[0035] 治療計画入力部２１７は、獣医師から動物についての治療計画の入力を受け付ける。治療計画入力部２１７は、受け付けた治療計画を、治療する動物患者を示す動物患者ＩＤに対応付けて治療計画記憶部２３２に登録することができる。

[0036] 治療計画送信部２１８は、治療計画をユーザ端末１に送信する。治療計画送信部２１８は、電子メールやチャットにより治療計画を含むメッセージを飼主のユーザ端末１に送信することができる。また、治療計画送信部２１８は、いわゆるＷｅｂアプリケーションとして、管理サーバ２にアクセスしてきた飼主のユーザ端末１に対して、治療計画を閲覧可能に提供するようにしてもよい。

[0037] 決済処理部２１９は、検査に係る費用をユーザ端末１に送信し、費用の決済処理を行うことができる。決済処理部２１９は、例えば、公知の技報を用いて、クレジットカードを用いた決済処理を行うことができる。また、決済処理部２１９は、ユーザ端末１が備えるようにしてもよい。

[0038] ＜動作＞

図４は、管理サーバ２の動作を説明する図である。

[0039] 管理サーバ２は、動物患者の検査が可能になったことを検出して、検査メッセージを動物患者の飼主のユーザ端末１に送信する（Ｓ３０１）。なお、動物患者の検査が可能になったことは、例えば、医療従事者から入力を受け付けることにより検出することができる。

[0040] 管理サーバ２は、検査が終了したことを検出すると（Ｓ３０２：ＹＥＳ）、次の処置があるか否かを判断し（Ｓ３０３）、処置があれば（Ｓ３０３：ＹＥＳ）、処置が可能か否かを検出して、処置を行うべきことを示すメッセージ（処置メッセージ）を動物患者の飼主のユーザ端末１に対して送信する（Ｓ３０４）。なお、検査が終了したことを検出することは、例えば、獣医療関係者から、終了した検査を受けた動物患者を示す動物患者ＩＤの入力を受け付けることができる。また、処置が可能か否かは、例えば、獣医師や看護師などの獣医療関係者から、動物患者ＩＤの入力とともに、動物患者ＩＤが示す動物患者に対する処置が可能であることの入力を受け付けることにより判断することができる。

[0041] 管理サーバ２は、動物患者に対して薬が処方されたか否かを判定し（Ｓ３０５）、薬が処方されている場合は（Ｓ３０５：ＹＥＳ）、処方を受けるように指示するメッセージ（処方メッセージ）を動物患者の飼主のユーザ端末１に対して送信する（Ｓ３０６）。

[0042] 管理サーバ２は、獣医療機関において動物患者が受けた獣医療の対価に係る決済処理を行うことができる（Ｓ３０７）。

[0043] 以上のようにして、本実施形態の獣医療支援システムによれば、検査後に検査の結果を聞くための診察を受ける必要がなくなり、スムーズに獣医療機関の受診を完了することができる。

[0044] 以上、本実施形態について説明したが、上記実施形態は本発明の理解を容易にするためのものであり、本発明を限定して解釈するためのものではない。本発明は、その趣旨を逸脱することなく、変更、改良され得ると共に、本発明にはその等価物も含まれる。

符号の説明

[0045] １　ユーザ端末

２　管理サーバ

請求の範囲

[請求項1] 獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力する検査メッセージ送信部と、

前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力する帰宅メッセージ送信部と、

前記検査の結果の入力を受け付ける検査結果入力部と、

前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信する検査結果送信部と、

を備えることを特徴とする獣医療支援システム。

[請求項2] 請求項１に記載の獣医療支援システムであって、

獣医師から前記検査の結果に応じた診断を受け付ける診断入力部と、

前記診断を前記ユーザ端末に送信する診断送信部と、

を備えることを特徴とする獣医療支援システム。

[請求項3] 請求項２に記載の獣医療支援システムであって、

前記獣医師から前記動物についての治療計画の入力を受け付る治療計画入力部と、

前記治療計画を前記ユーザ端末に送信する治療計画送信部と、

を備えることを特徴とする獣医療支援システム。

[請求項4] 請求項１に記載の獣医療支援システムであって、

前記検査に係る費用を前記ユーザ端末に送信し、前記費用の決済処理を行う決済処理部を備えること、

を特徴とする獣医療支援システム。

[請求項5] 獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査の結果の入力を受け付けるステップと、

前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信するステップと、

をコンピュータが実行することを特徴とする獣医療支援方法。

[請求項6] 獣医療機関に来院した飼主に対して動物の検査を受けさせるように指示するメッセージを出力するステップと、

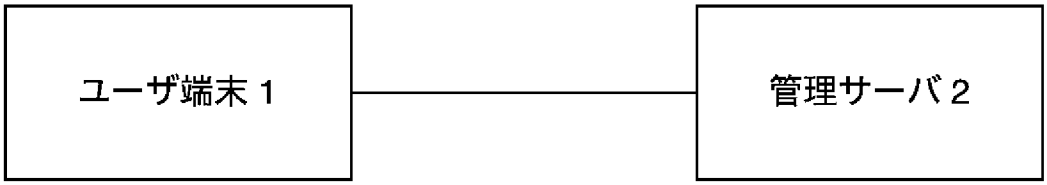
前記検査が終了したことに応じて、前記飼主に対して帰宅するように指示するメッセージを出力するステップと、

前記検査の結果の入力を受け付けるステップと、

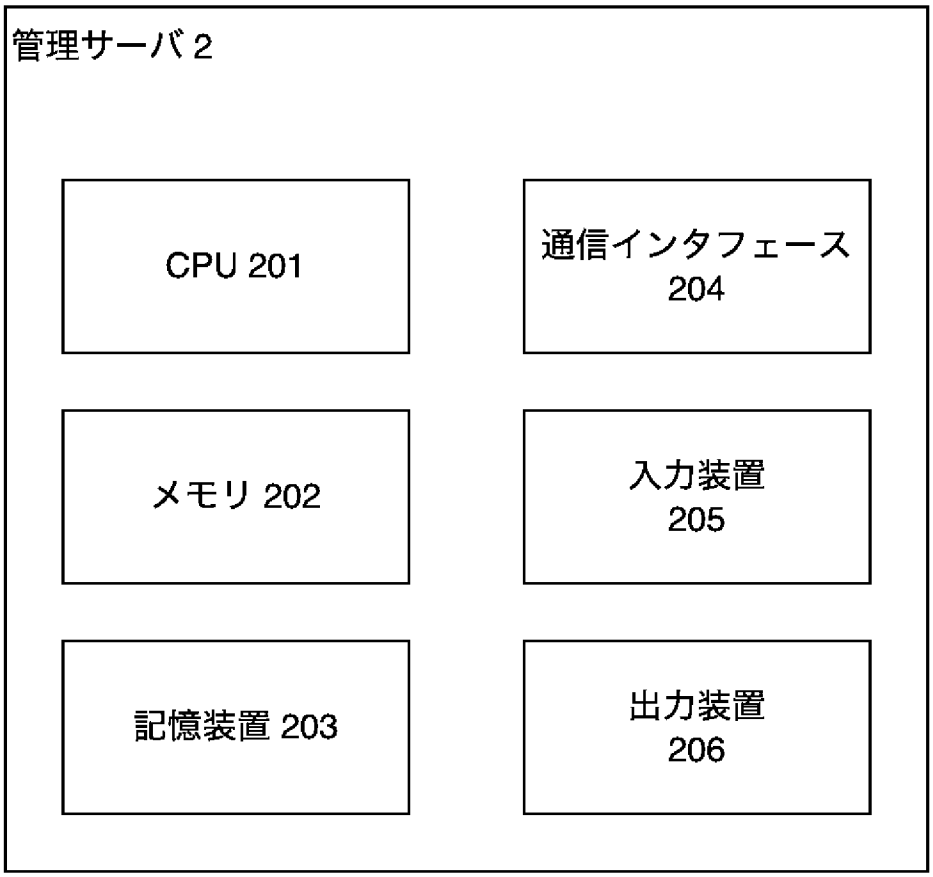
前記飼主のユーザ端末に前記検査の結果を送信するステップと、

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

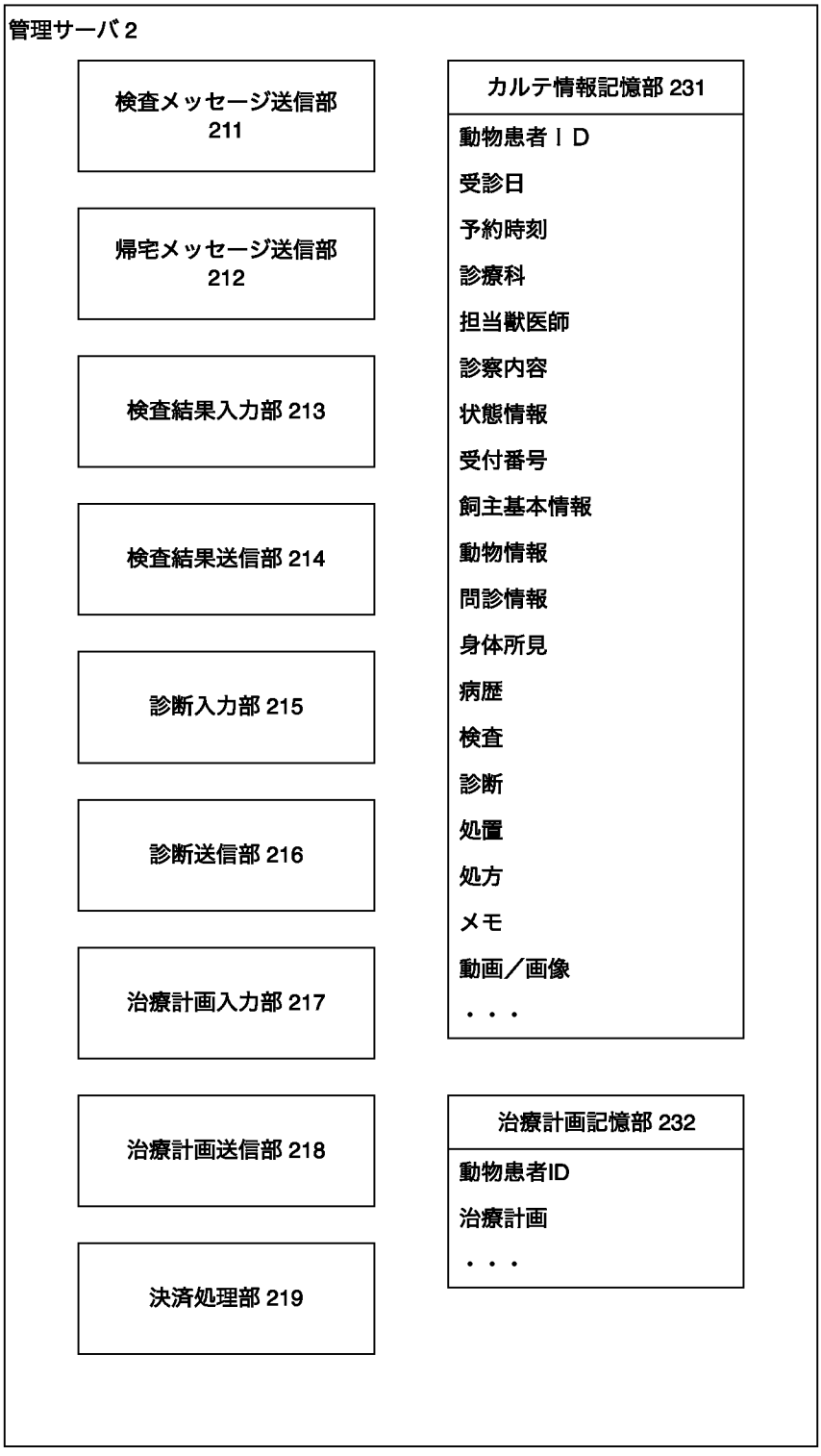
[図1]


ユーザ端末 1
管理サーバ 2

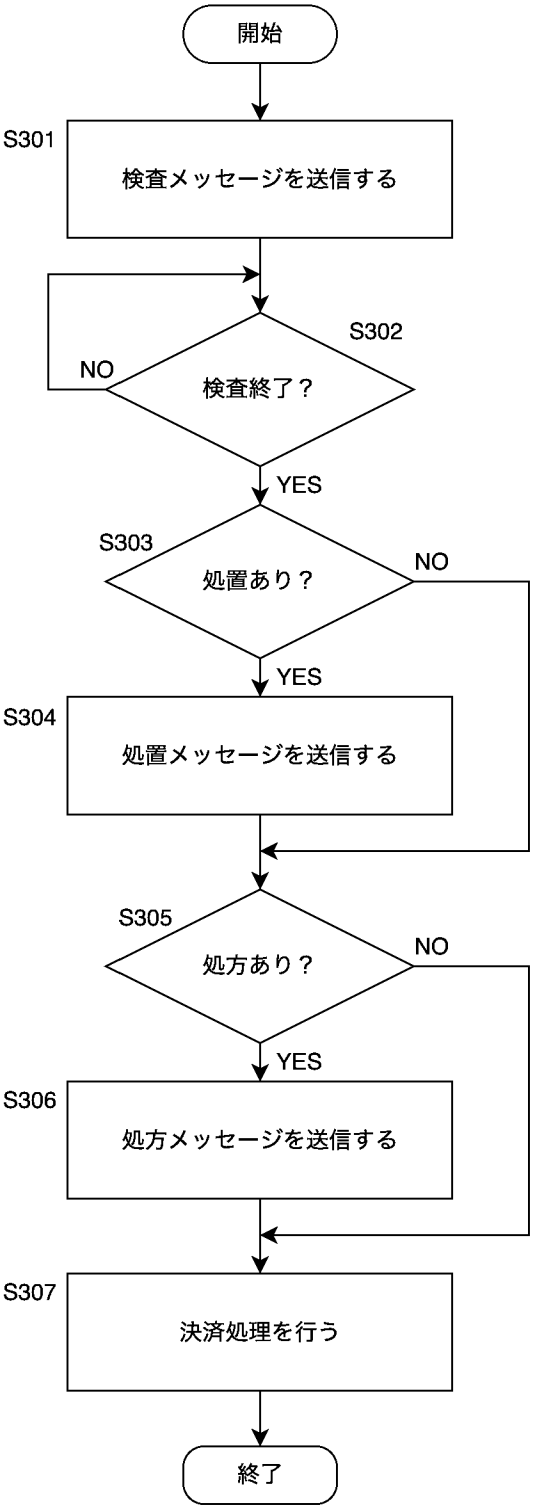
[図2]


管理サーバ 2
CPU 201
通信インタフェース
204
メモリ 202
入力装置
205
記憶装置 203
出力装置
206

[図3]


管理サーバ２
検査メッセージ送信部 211
帰宅メッセージ送信部 212
検査結果入力部 213
検査結果送信部 214
診断入力部 215
診断送信部 216
治療計画入力部 217
治療計画送信部 218
決済処理部 219
カルテ情報記憶部 231
動物患者ＩＤ
受診日
予約時刻
診療科
担当獣医師
診察内容
状態情報
受付番号
飼主基本情報
動物情報
問診情報
身体所見
病歴
検査
診断
処置
処方
メモ
動画／画像
・・・
治療計画記憶部 232
動物患者ID
治療計画
・・・

[図4]


開始
S301
検査メッセージを送信する
S302
検査終了？
NO
YES
S303
処置あり？
NO
YES
S304
処置メッセージを送信する
S305
処方あり？
NO
YES
S306
処方メッセージを送信する
S307
決済処理を行う
終了

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2022/036756

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G16H 80/00(2018.01)i
FI: G16H80/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G16H80/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2022
Registered utility model specifications of Japan 1996-2022
Published registered utility model applications of Japan 1994-2022

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2022-103426 A (PECO. INC.) 07 July 2022 (2022-07-07) paragraphs [0014], [0032], [0037], [0038]	1-6
Y	JP 2021-82339 A (TAKAYAMA, Masaaki) 27 May 2021 (2021-05-27) paragraphs [0064], [0065]	1-6
Y	JP 2006-4404 A (JCB KK) 05 January 2006 (2006-01-05) paragraph [0109]	4
A	JP 6969837 B1 (PECO INC.) 24 November 2021 (2021-11-24) entire text	1-6

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☑ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
28 October 2022	**08 November 2022**
Name and mailing address of the ISA/JP **Japan Patent Office (ISA/JP)** **3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915** **Japan**	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2022/036756

Patent document cited in search report	Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP 2022-103426 A	07 July 2022	(Family: none)	
JP 2021-82339 A	27 May 2021	US 2021/0225499 A1 paragraphs [0121], [0122] CN 113016037 A CA 3114563 A	
JP 2006-4404 A	05 January 2006	(Family: none)	
JP 6969837 B1	24 November 2021	(Family: none)	

国際調査報告

国際出願番号
PCT/JP2022/036756

A.　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

G16H 80/00(2018.01)i
FI: G16H80/00

B.　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

G16H80/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０２２年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０２２年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０２２年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C.　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー*	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
Y	JP 2022-103426 A (株式会社ＰＥＣＯ) 07.07.2022 (2022-07-07) ［００１４］、［００３２］、［００３７］－［００３８］	１－６
Y	JP 2021-82339 A (高山 昌顕) 27.05.2021 (2021-05-27) ［００６４］－［００６５］	１－６
Y	JP 2006-4404 A (株式会社ジェーシービー) 05.01.2006 (2006-01-05) ［０１０９］	4
A	JP 6969837 B1 (株式会社ＰＥＣＯ) 24.11.2021 (2021-11-24) 全文	１－６

☐ Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。

☑ パテントファミリーに関する別紙を参照。

*　引用文献のカテゴリー
“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
“&” 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
28.10.2022	08.11.2022

名称及びあて先
日本国特許庁(ISA/JP)
〒100-8915
日本国
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

権限のある職員（特許庁審査官）
吉田　誠 5N 3659

電話番号 03-3581-1101 内線 3586

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号
PCT/JP2022/036756

引用文献	公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP 2022-103426 A	07.07.2022	（ファミリーなし）	
JP 2021-82339 A	27.05.2021	US 2021/0225499 A1 [0121]-[0122] CN 113016037 A CA 3114563 A	
JP 2006-4404 A	05.01.2006	（ファミリーなし）	
JP 6969837 B1	24.11.2021	（ファミリーなし）	